

アメリカ合衆国

ジョゼフ・バイデン大統領 閣下

駐日米国特命全権大使

ラーム・エマニュエル 閣下

抗議文

貴国が西部ネバダ州の核実験場において 2021 年 6 月と 9 月に臨界前核実験を実施していたとの報に接しました。

本市といたしましては、これまでの再三の抗議にもかかわらず、このような報に接したことに対し、強い憤りを覚えるものであります。

核実験を行うことは、国際社会の核軍縮に逆行する行いであるとともに、核保有国の核軍縮責任をないがしろにするものであり、誠に遺憾であります。

本市は昭和 61 年（1986 年）12 月に平和都市宣言を採択し、毎年、被爆地広島への市民派遣や平和のつどいなどを通し、核の恐ろしさや戦争の悲惨さ、平和の尊さを学び、世界の平和と安全を希求する絶え間ない運動を続けております。

私たちは城陽市民を代表し、貴国の核実験に強く抗議するとともに、今後一切の核実験の計画を中止され、核軍縮と恒久平和のために努力を傾注されますよう強く求めます。

2022年 4月15日

京都府城陽市長

奥田 敏晴

京都府城陽市議会議長

谷 直樹